

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: R6年 2月 26日

事業所名 ナチュラルこどもハウス東中浜店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・運動サーキット等も行っており、十分なスペースで療育を行うことができている。	
	2	職員の配置数は適切である	2	3	・専門職・経験者・有資格者の配置を検討していく。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・玄関に一段ほど段差がある。それ以外は全体も見渡せ、フラットな空間になっている。 ・児童が活動するスペースには物を配置しないようにしている。 ・パーテーションやジョイントマットで空間を仕切り、活動スペースを明確にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・毎日、清掃・整頓を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	・朝のミーティングや引継ぎノートで全職員が情報を共有できるようにしている。 ・いつでも相談し合える環境を作っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・年度末にアンケートを実施し、今後の支援につなげられるようにしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・アンケートの集計結果をHPに掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	・指導があった場合はすぐに改善している。 ・第三者からの評価は現在検閲中である。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・外部研修や社内研修を受ける機会があり、希望すれば外部の研修を受けることができる。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・児童一人ひとりに合った支援が行えるよう、定期的に会議を行い計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・資料を参考に事業所で作成したアセスメント様式を活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・児童一人ひとりに合った課題と、それに応じた支援項目を選択し、具体的に支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・個別支援計画に沿った支援を心掛けている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・担当者を中心に日々、相談・情報共有をしながら行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・共有のカレンダーで予定を確認し、重複しないよう立案している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	・個々の成長や課題に応じ、レクリエーションを企画している。 ・活動の様子から、客観的に児童の強みや課題を判断し、職員間で話し合いながら計画書を作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		・朝のミーティングで活動のねらいや配置・職員の動きを含めた打ち合わせを行うことができています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		・担当者がレクリエーション案に活動の振り返りを記入し、ファイリングすることでいつでも見返すことができるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		・祝日イベント時は職員全員で良かった点や改善点を振り返っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		・モニタリング期間内に評価・見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		・主に児童発達支援管理責任者・担当職員・管理者などが出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0	5		・今後必要に応じて関係機関への問い合わせなど、連携を検討する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		・現在、対象児童がいないが関係機関との連携は必要であると認識している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		・送迎児童の園では積極的に行っている。 ・保護者や園・学校からの希望があれば書面で情報共有を行うこともある。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5		・機会があれば行いたいと考えている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		
		30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0		・必要性は感じている。 ・全児童を対象には実施できていないが、必要がある場合は悩みに寄り添う支援ができるよう努めている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		・見学・契約時に書面と口頭で説明ができています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		・支援計画は保護者の同意を得て作成することができています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		・保護者からの相談はもちろん、支援の方法に関してこちらから相談する等、日々連携して支援が行えるようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2		・日程調整の関係で今年度は開催することができなかったが、次年度はそういった機会を作れるように検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		・相談や申し入れがあればすぐに、職員間で共有し、それに適する案を考えて実践し、保護者への情報共有を行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		・毎月のお便りやSNSで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		・職員にその都度取り扱いに気を付けるよう周知し、厳重に管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		・写真や絵カードを用いて視覚的な支援を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		・今後検討し、地域とのつながりを作っていきたいと考えている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		・各種マニュアルを策定し、また、職員全体でマニュアルに沿ったシミュレーション・訓練を行っている。 ・児童を含め、月に一度避難訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	3		・現在対象児童がいない。今後、対象児童が利用する際はその体制がとれるようにしていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		・日々報告し合い、情報共有を行うことで対策や改善を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		・関連資料の読み合わせや、外部研修に参加し、全職員が共通意識を持つよう努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		・職員間や家庭との話し合いを大切にしている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。